

Plan

事業名	道路維持補修事業			事業類型	施設管理	実施計画	○	区分	継続
予算科目	一般会計	8 款	2 項		2 目	事業1	183	事業2	365
担当部署	部	都市整備部			課	土木管理課			
総合計画体系	めざまちの姿	5 調和のとれた便利なまち			基本計画	5-④生活の要は道路			
事業の目的	道路交通の安全性及び利便性を確保する。								
事業の概要	市道の安全性及び利便性を確保するための維持管理。								

Do

事務事業評価

(単位:千円)

	事業内容と活動実績	決算見込額	内、特定財源
平成30年度	市内道路反射鏡(27ヶ所)、道路照明灯(18灯)など修繕 48件	5,347	0
	市内幹線道路草刈作業、側溝清掃作業など手数料 81件	20,387	0
	分川跨線橋他3橋JR橋梁点検・診断業務委託など(16橋) 3件	29,801	13,200
	新所原駅南北自由通路昇降機設備保守点検業務委託など 3件	6,939	0
	LED道路照明灯リース料、ダンプトラック3t・2tリース料など 19件	11,983	0
	市内道路区画線補修工事など 11件	6,767	0
	市内道路側溝補修及び道路補修工事など 20件	8,440	0
	その他	24,097	0
	合計	113,761	13,200

Check

成果指標	成果指標名(単位)				H29実績	H30目標	H30実績	R1目標
事業の評価	判定	判定理由や課題、改善した点など						
	必要性							
	有効性							
	効率性							

Action

事業費				左記についてのコメント
今後の方向性	維持	次年度	維持	道路施設を適正かつ円滑に維持管理することにより、道路利用者の道路交通の安全性及び利便性が確保されることから必要不可欠である。

実施計画

(単位:千円)

事業内容	令和元年度	令和2年度	令和3年度
市内道路反射鏡、道路照明灯など修繕	▶▶▶		
市内幹線道路草刈作業、側溝清掃作業など手数料	▶▶▶		
跨線橋など橋梁点検・診断業務委託	▶▶▶		
LED道路照明灯リース料、ダンプトラック3t・2tリース料など	▶▶▶		
市内道路区画線補修工事など	▶▶▶		
市内道路側溝補修及び道路補修工事など	▶▶▶		
鷺津跨線人道橋補修設計業務	▶▶		
富士見橋側道橋など補修設計業務		▶▶	
3か年の合計事業費	336,209		

Plan

事業名	舗装補修事業			事業類型	施設管理	実施計画	○	区分	新規
予算科目	一般会計	8 款	2 項		2 目	事業1	183	事業2	367
担当部署	部	都市整備部			課	土木管理課			
総合計画体系	めざすまちの姿	5 調和のとれた便利なまち			基本計画	5-④生活の要は道路			
事業の目的	安全性及び走行性等、良好な道路環境を確保する。								
事業の概要	道路舗装の維持管理。 経年変化による舗装表面の破損が著しい幹線道路の補修、生活道路の補修を行い良好な道路環境を作る。								

Do

事務事業評価 (単位:千円)

	事業内容と活動実績	決算見込額	内、特定財源
平成30 年度	市内道路簡易舗装補修工事 3件	1,791	0
	市道元町坊瀬線舗装補修工事 1件	17,540	16,315
	合計	19,331	16,315

Check

成果指標	成果指標名(単位)				H29実績	H30目標	H30実績	R1目標
事業の 評価	判定	判定理由や課題、改善した点など						
	必要性							
	有効性							
	効率性							

Action

事業費				左記についてのコメント
今後の 方向性	維持	次年度	維持	道路舗装を適正かつ円滑に維持管理することにより、道路利用者の安全性及び走行性等が向上し良好な道路環境が確保されることから必要不可欠である。

実施計画 (単位:千円)

事業内容	令和元年度	令和2年度	令和3年度
市内幹線道路路面性状調査	→		
市内道路簡易舗装補修工事	→		
市内幹線道路舗装補修工事(東笠子6号線など)	→		
3か年の合計事業費	63,050		

Plan

事業名	上ノ原藤ヶ池線（跨線橋）道路改良事業			事業類型	ハード	実施計画	○	区分	継続
予算科目	一般会計	8 款	2 項		3 目	事業1	184	事業2	379
担当部署	部	都市整備部			課	土木建設課			
総合計画体系	めざすまちの姿	5 調和のとれた便利なまち			基本計画	5-④生活の要は道路			
事業の目的	東海道本線に架かる藤ヶ池跨線橋と上ノ原跨線橋は、老朽化が進み非常に危険な状況となっているため、現在は通行止めとなっている。本事業は、その2橋の改修を行うことにより、利用者の安全確保と生活環境の改善を図る。								
事業の概要	事業概要：水路跨線橋 N=1橋 導水路工 L=560m 既設橋梁撤去 N=2橋 R元 JR本社協議 R2 耐震補強概略検討								

Do

事務事業評価

(単位:千円)

	事業内容と活動実績	決算見込額	内、特定財源
平成30年度			
	合計	0	0

Check

成果指標	成果指標名(単位)				H29実績	H30目標	H30実績	R1目標
事業の評価	判定	判定理由や課題、改善した点など						
	必要性							
	有効性							
	効率性							

Action

事業費				左記についてのコメント
今後の方向性	維持	次年度	維持	橋梁が改修されることにより歩行者の利便性が向上するとともに、通行の安全性が確保される。

実施計画

(単位:千円)

事業内容	令和元年度	令和2年度	令和3年度
耐震補強概略検討			
3か年の合計事業費		8,000	

Plan

事業名	横須賀橋郷北線（鷲津踏切）道路改良事業			事業類型	ハード	実施計画	○	区分	継続
予算科目	一般会計	8 款	2 項		3 目	事業1	184	事業2	378
担当部署	部	都市整備部			課	土木建設課			
総合計画体系	めざすまちの姿	5 調和のとれた便利なまち			基本計画	5-④生活の要は道路			
事業の目的	鷲津駅北地区と南地区を結ぶ本路線は小中学校の通学路指定にもなっている通過交通量の非常に多い道路であるが、東海道本線を横断する踏切内には歩道が無いため、通学時には児童が車両を避けるため、軌道内を歩く等、大変危険かつ不便な状況となっている。よって、踏切内に歩道を設置し、通学路の安全確保と生活環境の改善を図る。								
事業の概要	事業概要：整備延長 L=36m（踏切部 L=14.4m） 歩道幅員 W=2m R元 予備設計 R2 詳細設計 R3 用地買収・工事（踏切部）								

Do

事務事業評価

(単位:千円)

		事業内容と活動実績	決算見込額	内、特定財源
平成30年度	予備設計(R1へ繰越)		0	0
	合計		0	0

Check

成果指標	成果指標名(単位)				H29実績	H30目標	H30実績	R1目標
事業の評価	判定	判定理由や課題、改善した点など						
	必要性							
	有効性							
	効率性							

Action

事業費				左記についてのコメント
今後の方向性	拡大	次年度	維持	歩道が整備されることにより自転車、歩行者と車を分離することができるので、通学者等への安全性が確保され道路利用者の利便性が向上する。 本事業箇所はH29.11に踏切道改良促進法第3条第1項の規定により、改良を実施すべき踏切道として指定され、R2までに改善をすることが義務づけられた。

実施計画

(単位:千円)

事業内容	令和元年度	令和2年度	令和3年度
詳細設計		▶	
用地買収・工事(踏切部)			▶
3か年の合計事業費	120,000		

Plan

事業名	国道301号関連道路整備事業			事業類型	ハード	実施計画	○	区分	継続
予算科目	一般会計	8 款	2 項		3 目	事業1	184	事業2	372
担当部署	部	都市整備部			課	土木建設課			
総合計画体系	めざすまちの姿	5 調和のとれた便利なまち			基本計画	5-④生活の要は道路			
事業の目的	県が施工している国道301号の道路整備に合わせ、市道や水路の整備を行うことにより、安全性の向上と地域環境の改善を図る。								
事業の概要	事業概要：国道301号整備に伴う市道等の関連工事 R元 利木バイパス旧道処理調整、横山歩道整備関連工事、青平踏切関連工事 R2 工事 R3 工事								

Do

事務事業評価

(単位:千円)

	事業内容と活動実績	決算見込額	内、特定財源
平成30年度	国道301号(横山関連)排水路用地買収 A=11㎡	102	0
	国道301号(横山関連)排水路工事(H31へ繰越)	0	0
	国道301号(利木)道路改良工事(H31へ繰越)	0	0
	その他	209	0
	合計	311	0

Check

成果指標	成果指標名(単位)				H29実績	H30目標	H30実績	R1目標
	判定理由や課題、改善した点など							
事業の評価	判定							
	必要性							
	有効性							
	効率性							

Action

事業費				左記についてのコメント
今後の方向性	維持	次年度	維持	県が進めている幹線道路整備に合わせて生活道路を整備することにより、効率的な基盤整備が図られる。

実施計画

(単位:千円)

事業内容	令和元年度	令和2年度	令和3年度
国道301号(青平踏切)関連工事	→		
工事		→	
3か年の合計事業費	20,500		

Plan

事業名	新所原笠子線道路改良事業			事業類型	ハード	実施計画	○	区分	継続
予算科目	一般会計	8 款	2 項		3 目	事業1	184	事業2	370
担当部署	部	都市整備部			課	土木建設課			
総合計画体系	めざすまちの姿	5 調和のとれた便利なまち			基本計画	5-④生活の要は道路			
事業の目的	本路線は、県道新所原停車場日の岡線と県道新所原停車場白須賀線を結ぶ幹線市道である。東工区はH24に完了済みであり、今回の整備は西工区について利用者の利便性の向上及び地域の交通安全を図るために行う。								
事業の概要	事業概要：全体計画 県道豊橋湖西線～境宿門原線 (L=780m) 1工区 南部幹線～境宿門原線 (L=370m) R元 物件補償 N=1件、用地買収 A=67㎡、工事 L=15m R2 物件調査、物件補償、用地買収、工事 R3 物件調査、物件補償、用地買収、工事								

Do

事務事業評価 (単位:千円)

	事業内容と活動実績	決算見込額	内、特定財源
平成30年度	物件補償調査 N=5棟、工作物補償調査 N=4戸、営業補償調査 N=2事業所	5,200	4,887
	合計	5,200	4,887

Check

成果指標	成果指標名(単位)				H29実績	H30目標	H30実績	R1目標
事業の評価	判定	判定理由や課題、改善した点など						
	必要性							
	有効性							
	効率性							

Action

事業費				左記についてのコメント
今後の方向性	拡大	次年度	維持	早急に安全対策が求められる当該路線について、早期に未整備区間を整備することで地域の交通安全が確保される。

実施計画 (単位:千円)

事業内容	令和元年度	令和2年度	令和3年度
用地買収、物件補償、工事	▶		
3か年の合計事業費	325,800		

Plan

事業名	鷺津駅谷上線整備事業			事業類型	ハード	実施計画	○	区分	継続
予算科目	一般会計	8 款	4 項		2 目	事業1	193	事業2	715
担当部署	部	都市整備部			課	土木建設課			
総合計画体系	めざまちの姿	5 調和のとれた便利なまち			基本計画	5-④生活の要は道路			
事業の目的	本路線は国道301号と市道三ツ谷谷上線を結ぶ幹線道路である。鷺津駅及び谷上側は土地区画整理事業により整備が完了しているが、本区間は未整備の状態である。このため本区間の整備を行い、通勤通学者はもとより付近商業施設等の安全性の確保と生活環境の改善を図る。								
事業の概要	事業概要：整備延長 L=430m 計画幅員 W=16m（県道豊橋湖西線～ふれあい交流館交差点） R元 物件調査 N=1件 用地買収 A=106㎡ 工事 L=15m R2 用地買収・物件補償 R3 用地買収・物件補償								

Do

事務事業評価 (単位:千円)

		事業内容と活動実績	決算見込額	内、特定財源
平成30年度	用地測量 A=10,500㎡		3,347	24,400
	事業認可申請書作成 N=1式		495	
	工事 L=29m		1,329	
	用地買収 A=239㎡		20,519	
	物件補償調査(H31へ繰越)			
	その他		42	0
		合計	25,732	24,400

Check

成果指標	成果指標名(単位)				H29実績	H30目標	H30実績	R1目標
事業の評価	判定	判定理由や課題、改善した点など						
	必要性							
	有効性							
	効率性							

Action

事業費				左記についてのコメント
今後の方向性	拡大	次年度	拡大	早期に安全対策が求められる当該路線について、令和2年度より事業を拡大し、歩行者の安全確保と自動車走行の円滑化を図る。

実施計画 (単位:千円)

事業内容	令和元年度	令和2年度	令和3年度
物件調査	→		
用地買収、物件補償、工事	→		
3か年の合計事業費	538,793		

Plan

事業名	(都)大倉戸茶屋松線整備事業			事業類型	ハード	実施計画	○	区分	継続
予算科目	一般会計	8 款	2 項		3 目	事業1	184	事業2	380
担当部署	部	都市整備部			課	土木建設課			
総合計画体系	めざまちの姿	5 調和のとれた便利なまち			基本計画	5-④生活の要は道路			
事業の目的	地域振興に資するため、(仮称)浜名湖西岸地区新産業拠点のアクセス道路となる都市計画道路大倉戸茶屋松線の整備を行う。								
事業の概要	事業概要：国道1号(大倉戸IC)～市道古見新居線(新居鉄工団地入口付近) 整備延長 L=1,600m 計画幅員 W=16m R元 物件補償 N=12件、用地買収 A=19,500㎡、工事 N=1式 R2 工事 R3 工事								

Do

事務事業評価 (単位:千円)

	事業内容と活動実績	決算見込額	内、特定財源
平成30年度	詳細設計 L=1540m、測量業務 N=1式、地質調査・解析業務 N=1式		0
	建物調査 N=19棟、工作物調査 N=14戸他、立竹木調査 A=28,332㎡	53,292	0
	土地購入 A=45,596㎡、物件補償 N=33件	341,064	323,673
	土地購入費、補償費、工事費(H31へ繰越)		
	合計	394,356	323,673

Check

成果指標	成果指標名(単位)				H29実績	H30目標	H30実績	R1目標
事業の評価	判定	判定理由や課題、改善した点など						
	必要性							
	有効性							
	効率性							

Action

事業費				左記についてのコメント
今後の方向性	維持	次年度	維持	本路線を整備することにより、産業振興に資することに加え、市民の利便性の向上が図られる。

実施計画 (単位:千円)

事業内容	令和元年度	令和2年度	令和3年度
物件補償、用地買収、工事			
工事			
3か年の合計事業費	1,496,500		